

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様、保護者様一人ひとりに寄り添ったオーダーメイド療育の提供	利用者様や保護者様のご要望をもとに、活動内容を一から考え、オーダーメイドの療育を提供しています。個別療育のため、学習、コミュニケーション、手先の運動、自立に向けた活動など、一人一人に合わせた臨機応変・細かな対応が出来ます。	今後も、活動内容が単調にならないように心がけていきます。保護者様へのフィードバックや関係機関との連携を通して、細やかな活動内容の調整を行っています。
2	保護者様の相談しやすい環境づくり	活動後に、フィードバックの時間を必ず設けています。最近のご家庭や園などのお子さんの様子について、お聞きしたり、お話ししたりすることを意識して行っています。話しやすい雰囲気作りを大切にしています。	継続して、保護者様とお話する時間を大切にしていきます。家族支援だけではなく、関係機関との情報共有も大切にしていきます。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスのサービス提供時間の区切りをなくしていること	本校舎では、児童発達支援と放課後等デイサービスの時間区切りを設けていません。これまで、時間の制限により、利用制限もありましたが、多くの方のご希望に添えるようになりました。	今後も、できる限り、ご利用者様のご希望に沿った形でサービスの提供ができるように調整していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校との連携が十分にできていないこと	保護者様のご要望や利用者の実態を踏まえ、学校との連携を行いたいと考えた際に、日程や時間の調整など、様々な要因により難しい場合があります。	学校との直接連携にとらわれず、保護者様や相談支援事業所など、関係機関との情報連携を行うことで、より寄り添ったサービスの提供ができるようにしていきます。
2	利用者の送迎に行っていないこと	本校舎では、送迎を行っていません。そのため、保護者様に送迎のご協力をいただいております。	出来る限り、送迎のご都合に合わせて調整させていただきますが、難しい場合もありますので、ご了承いただければと思います。
3	校舎へ行くまでの階段が、雨や雪などで塗れると滑る危険性があること(校舎はビルの2階)	天気の悪い日には利用者様や保護者様に、ゆっくり上り下りしてほしいと声掛けを行ってきました。除雪もまめに行っていました。	12月から、改装工事が入り、通路は滑りにくい素材になり、床や階段にはマットが設置されたため、以前より安心して上り下りできるようになりました。保護者様からも、これなら安心とお声を頂いています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 44

回収数 44/44

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	1			運動をする際、他の児童との接触が不安。	ご意見ありがとうございます。運動をする際は、最大限安全面に配慮したうえで行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41	1		2	教室が2階にあり、鉄の階段のため、冬場が怖い。	特に積雪があり階段が濡れている際は、滑りやすく危ないことがあるかと思いますが、できる限り対策を施してはおりますが、手すりも使いながらゆっくりと昇降していただければと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43	1			部屋が少し暑い。	ご意見ありがとうございます。暑くなりすぎないよう、寒くなりすぎないよう調整しておりますが、外気温との差が大きくなってしまいうこともあかと思ます。都度、調整できますので、遠慮なさらずお声がけください。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	44					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	1		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	19	9	5	11		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	43	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	2	2	7		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	44					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	8	6	14	今の形で十分だと感じている。	ありがとうございます。今後も、よりよい家族支援ができるように務めていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	39	3		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	3	1	8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	4		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43	1			「クラゼミやったー！」と喜んで通っている。皆さんに温かく支援してもらい、とても安心している。/家に帰ってからも、楽しそうにその日の活動について話をしてくれる。家で嫌がることもクラゼミでは楽しくできているため本当にありがたい。	嬉しい言葉ありがとうございます。今後も、楽しくお通いいただけるようにサービスの向上に努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	44					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「クラ・ゼミ」天童中央校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		おもちゃや教材を補充している棚の位置を変更・整理するなど、日頃から使いやすい環境を心がけている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		パーティションを使用し個室に近い空間にしたり、相談室を使用できるように配慮している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングに参加し、目標数等を共有している。職員内で情報の共有や振り返りを行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		意見を把握する機会を設けている。改善が必要なことはできる限り早急に改善できるよう努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		打ち合わせ時など、意見を把握する機会を設けている。改善が必要なことはできる限り早急に改善できるよう努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っていないが、内部監査を定期的に行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者それぞれに合わせて固定化すべきプログラムとそうではないプログラムを考えている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に打ち合わせを行えないことがある。前日や空いている時間に打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に打ち合わせを行えないことが多いため、翌日の朝に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者・児発管が参加することが多いが、可能な範囲で、主で関わっている児童指導員も一緒に参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接的な連携は少ないが、相談支援事業所や保護者様を通じて、支援の内容や関わり方などについて助言等の共有を行うことが出来ている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		直接的な連携は少ないが、保護者様を通じて、支援の内容や関わり方などについて助言等の共有を行うことが出来ている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現段階ではない。今後、そのような機会が必要となれば、検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者または児発管が参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会は行えていないが、不定期で親子小集団を行っている。その際、保護者同士で交流できる機会になっている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信の発行、Instagramやブログを活用した情報の発信をおこなっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、保管を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域へ向けてイベントを行う際は、幼児家庭(兄弟)向けにチラシを配布するなどしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し訓練を行っているほか、契約時に保護者様へ重要事項説明書で説明をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事提供なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行っている。それぞれ、報告書等も作成し、管理している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書で保護者様へ説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止に向けて、事業所内だけではなく、エリア内で情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員全員、社内で行っている研修を受けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		社内で研修を行っているほか、契約時に保護者様へ重要事項説明書で説明したり、個別支援計画に記載したりしている。最大限、身体拘束以外の方法で安全を確保できるように努めている。		